

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	中央図書館	■担当係	資料係
■評価事業名称	近世・近代文書調査員設置		
■評価事業コード	402100 - 047	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	02 社会教育の充実	
	■施策	03 社会教育機能の充実	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	図書館法第三条 北上市立図書館規則第11条		
■関連計画の名称			
■事業の概要	近世・近代文書の資料収集整理・解読を行うことにより、資料に基づく郷土の学習や、さらに郷土を理解することにより市民のサービスの向上の実感が得られる。近世・近代文書収集整理、古文書解読、参考調査。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	近世・近代文書調査員設置	近世・近代文書調査員		<ul style="list-style-type: none"> ・古文書解読、表題つけ 350件 ・資料調査・収集 11件 ・出前講座等 6回 ・参考調査等 17件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	2,205	1,999	1,391	1,407	
人件費	329	1,046	989	1,187	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,534	3,045	2,380	2,594	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	文献収集・解読	600件	372件	380件	350件	解読数
03	総近世・近代文書数	11,896件	12,268件	12,648件	12,98件	解読総数
04	解読1件当たりコスト	4,223円	8,185円	6,263円	7,411円	フルコスト÷解読数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

寄贈資料の解読を進めているが、汚破損や劣化が著しい資料には時間がかかっている。

問題点・課題等

古文書及び古書を解読できる人材・土地の歴史について詳しい知識を持つ人材に限られている。そのため個人や団体、文化財課からの調査委依頼も多く時間をとられている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明